

山口県立下関西高等学校 定時制

いきいき定時 11月号

天下一第

1 日遠足

11月1日(月)、快晴、絶好の遠足日和のもと、山田校長をはじめとする職員7名、生徒3名の計10名で、県東部の周防大島、柳井方面に一日バス旅行に行きました。新型コロナウイルスの波は収まりつつあるものの、まだまだ油断はできません。バス内でも相互に距離を取り、マスクをして、静かに、片道2時間の県内の旅を楽しみました。県内生まれ、県内育ちの筆者も周防大島を観光で訪れるのは初めてです。県西端に住む生徒の皆さんにとっても、貴重な訪問になるかもしれません。上左：周防大橋 右：橋を渡ったところに周防大島の文字看板 下左：南国を思わせる街路樹 右：島の特産物の一つ、ミカンの木



安下庄高校白木分校跡地 実は周防大島は坂本先生と田中先生の初任の地でもあります。昼食まで少しの時間があつたので、近くにある坂本先生の初任校、安下庄高校白木分校跡地を訪ねてみました。 右：感慨深そうな表情で記念碑の横に立つ坂本先生



かわい寿司 昼食は豪華海鮮丼をいただきました。この大将は田中先生の初任校、久賀高校(現在は安下庄高校と統合され周防大島高校)の野球部員で、監督をしていた田中先生の教え子だそうです。全員で瀬戸内の海の幸をおいしくいただきました。



左：4年正副担任と生徒達 右：超美味、海鮮丼 右下 お店の前で

道の駅サザンセト 大島の特産品であるみかんを使ったお菓子やお土産をたくさん買いました。ちょっとだけ島の経済に貢献できたかもしれません。



左：道の駅サザンセト

右：買い物中の森君と田村教頭

白壁の町並み 軒先にぶら下がる伝統民芸品の金魚提灯が有名ですね。江戸時代から続く商家の家並みが続く、趣のある石畳の通りを散策しました。

左：全員で撮った記念写真
 右上：散策の様子
 右下：金魚提灯



佐川醤油蔵 白壁の町並みから少し入った所に創業天保元年（1830年）の佐川醤油店の醤油蔵の一部が資料館として公開されています。中に入ると大きな樽の中で熟成中の甘露醤油の香ばしい香りがツーンと鼻をつきました。



左：担任と3名、談笑中 中：佐川醤油蔵の内部、右手にあるのは醸造用の大きな樽 右：佐川醤油蔵外観

やまぐちフラワーランド 平成18年開園、花のある生活や花の楽しみ方の提案を通じて、花の消費拡大を目的に、山口県が建設した施設です。約3.5ha（東京ドームの約4分の3）の広大な敷地の中では、春夏秋冬、一年を通じ、どの季節でも約100種類、12万本の草花が楽しめます。のどかな天気の中、きれいな花を見ながら、ゆっくりと散策しました。



左3枚：園内のきれいな花々
 右2枚：花の観覧車の前で記念写真



12月の主な予定

2（木）期末考査時間割発表、6（月）燈影原稿作成②、9（木）～16（木）期末考査
 20（月）面接、21（火）22（水）保護者懇談 23（木）終業式